

山岳競技2位.自転車競技3位多久市出身選手大活躍

第66回国民体育大会



▲山岳成年男子リード競技中の
祝茂男選手(左) 樋口純裕選手(右)

第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」(10月1日～11日)が開かれ、山岳成年男子リードに出場した祝茂男さん(北多久町)・樋口純裕さん(東多久町)が準優勝。また、自転車少年男子スプリントに出場した橋本瑠偉さん(多久町)が3位入賞しました。佐賀県代表として活躍した3人は全て多久市出身です。

リードは15mの人工壁を命綱を体にくくり、チームの2人が制限時間内にどこまで高く登れるかを競う競技。今回の予選ではルートの難易度が低かったため8位タイでしたが、決勝では難易度が高いコースで佐賀県成年男子として初の2位に入りました。仕事や学業との両立が難しいなかで2位と健闘した2人は「十分満足で嬉しい」と喜んでいました。

自転車少年男子スプリントは、1対1で競いトラック2.5周で勝敗を決める競技です。今年の全国総体では4位の成績だった橋本選手は、国体では快走し、3位に入賞しました。「優勝しなかった」と今後の成長が楽しみな高校2年生は、「課題を克服して、今後も頑張ります」と笑顔で話しました。



▲山岳競技表彰式 前列中央 樋口純裕選手
後列中央 祝茂男選手



▲自転車競技表彰式 後列右 橋本瑠偉選手

福祉作業所『ありがとう』 青い鳥保育園ともほりで交流



福祉作業所『ありがとう』の利用者と青い鳥保育園の年長の園児たちが、今年の5月に一緒にさつまいもやかぼちゃを植えた畑で、いもほりの収穫体験を行いました。「どのくらい大きくなったかなあ」と楽しみにしていた園児たちは、固くてなかなか掘れない土の中から、大きいさつまいもが現れると大歓声。いもほりの後は、出来たてのやきいもをみんなで食べて楽しみました。

10/13

障害者スポーツ大会 交流を深め にぎわいました



秋晴れのさわやかな日曜日、多久市障害者スポーツ大会が体育センターで開かれ、約150人が競技を楽しみ交流を深めました。障害者の体力増強に役立てると多久市身体障害者福祉協会(陣内和博会長)などの団体が催し、今回で48回目。参加者は、ニュースポーツのバッコ競技やボーリング、風船割競争などに挑み、会場は歓声や笑顔で盛りあがりました。

10/9